

岡山森林管理署

担当者
森林技術指導官:元清水孝司
地域林政調整官:甲元敏夫
TEL:050-3160-6135

- ▶ 岡山県の森林は、中国山地から瀬戸内海にかけて、変化に富んだ気候、地形などの自然条件や利用形態の違いにより、様々な森林が生育しています。県土の68%（484千ha）が森林であり、このうち国有林は32千haあります。
民有林では、ヒノキを中心とする人工林が176千haで、人工林率が39%と全国平均46%に比べやや低い状況にあります。また、岡山県における地域森林計画間伐対象森林（11～40年生）は、約6万haで全体の35%を占めており、適正な間伐の実施が課題となっています。今後、資源の成熟に伴い利用段階に移行しつつある森林について、木材等生産機能と地球温暖化防止機能の発揮の観点からは、これらの成熟した森林資源を伐採し、利用した上で跡地に再造林を行う「若返り」が求められています。
一方、岡山県北部地域に所在する国有林は、中国山地の脊梁地帯に分布し、国土保全、水源涵養等の公益的機能の発揮に重要な役割を果たしています。また、南部地域に所在する国有林は、保健・文化・教育的な利用の場として都市住民に利用されています。なお、国有林の人工林率は66%と高く、公益的機能の発揮のみならず、地域林業の中核をも担っています。
- ▶ 岡山県（美作県民局）との地域林政連絡会議では、平成26年度の地域課題の解決に向けた取組の総括を行い、平成27年度の民国連携の取組に向けて、森林整備推進協定の推進、有害鳥獣被害対策、低コスト造林の推進等について意見交換を行いました。
- ▶ 国有林が所在する津山市、新見市、真庭市、奈義町、鏡野町とも地域林政連絡会議を開催し、各市町の林業施策の概要、地域課題等について幅広く情報を共有し、意見交換を行いました。なお、それぞれの市町が抱えている地域課題については、事務担当者間により民国が連携した取組の検討を行い、それぞれの課題解決に向けた取組を展開しています。



(岡山県との地域林政連絡会議の様子)

森林情報の共有

【課題】 民有林の既設路網情報の把握と共有図面の作成（完結）

【取組状況】

- 岡山県北部地域の国有林所在市町村を対象に、今後の民国連携に向けた取組の趣旨説明及び各市町村の路網整備状況に係る情報提供依頼を実施。
- 津山市、真庭市、新見市、鏡野町からのデータ提供により関係地域の共通図面を作成。

【成果と今後の課題】

- 共通図面の作成により、民国の路網配置状況を的確に把握することができ、既設路網を活用した民国連携の検討に使用。
- 津山市、鏡野町と官行造林地の今後の施業の検討を行う際に、共通図面を使用。路網配置状況、民国の森林分布等の地理的状況の分析・把握に寄与。



鳥獣被害対策の推進

【課題】 二ホンジカ被害対策（継続）

【取組状況】

- 国有林野等所在市町村長有志協議会等の各種会議において、各機関から二ホンジカ被害に係る情報の収集を実施。
- 二ホンジカの被害・生息状況を把握するため、国有林野内において簡易生息・被害調査を行い、関係機関等への情報共有を実施。
- 中国四国農政局や市町村が主催する「鳥獣被害対策現地検討会」等に参加し、関係機関等との意見交換を実施。

【成果と今後の課題】

- 各機関からの情報収集及び国有林内でのシカ生息状況調査により、シカの生息域を確認。今後、主伐・再造林を進めていく中で、シカの生息状況を常時把握し、生息密度等に応じた被害防止対策の検討が必要。
- 鳥獣被害対策現地検討会等において、各地域における個体数管理の手法や広域連携の必要性等について理解を深めることができた。今後、効果的な防除対策に向け、その他の市町村や関係団体等との連携も視野に取組を継続。



(二ホンジカの食害の様子)

民有林と国有林が連携した管理経営の推進

【課題1】民有林における路網整備の促進（継続）

【取組状況】

・地域林政連絡会議等の各種会議において、民国が連携した管理経営の取組について情報提供を実施。また、森林共同施業団地で現地検討会を開催。国有林隣接の民有林関係機関に対し、自然的・社会経済的条件を踏まえ、国有林の既設路網から民有林へアクセスするための長期的・広域的な視点に立った構想（路網等）を提案。

・山ノ神谷国有林内の森林整備において、民有林関係者との現地踏査を経て、民有林を含む広域的な利用を想定した森林作業道を開設。

【成果と今後の課題】

・山ノ神谷・深谷地域において、国有林が先行して林業専用道等の基盤整備を実施。今後、奥地の民有林において路網整備が図られ、民有林における森林整備の推進及び木材の安定供給等に寄与。



（現地検討会11/16の様子）

【課題2】新たな森林共同施業団地の設定（拡充）

【取組状況】

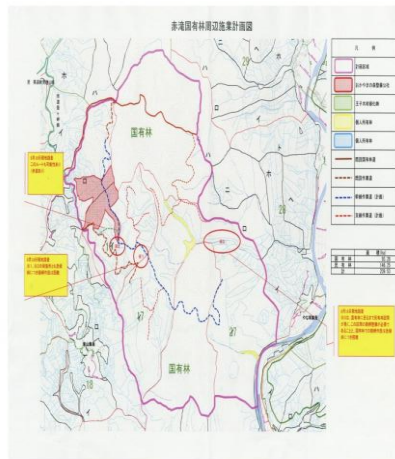
・新見市赤滝国有林に隣接する民有林との森林共同施業団地の設定に向けて、新見市及び関係機関と路線設定の現地踏査を実施。

・新見市との地域林政連絡会議において、森林共同施業団地の設定に向けた協議を実施。

【成果と今後の課題】

・新見市及び関係機関との協力・連携により、路網作設に係る民有林所有者への折衝を実施。
・国有林に隣接する森林所有者への情報提供により、今後、民国連携に向けた取組の浸透及び波及効果に期待。

新見市赤滝国有林 共同施業団地構想図



（現地踏査により路線を選定する様子）

林道事業の推進

【課題】併用林道協定の見直し（完結）

【取組状況】

・津山市、真庭市、鏡野町の併用林道協定の更新にあたり、現況と今後の取扱いについて協議を実施。また、このほかの併用林道協定を締結している市町村に対して、併用協定路線一覧表により協定内容を周知し、変更・継続の意向確認を経て実情に応じて協定内容を見直し。

【成果と今後の課題】

・各市町村の意向確認に基づき、新たな協定を順次締結中。併用協定の見直し、更新により、各市町村において各路線の現状認識及び自主的な維持管理の促進に寄与。



（鏡野町との地域林政連絡会議の様子）

地域林業の活性化

【課題】地域の特性を活かした長期的な展望に基づく森林整備等（継続）

【取組状況】

・津山市において、民有林における中期的な更新計画を策定するため、津山市内に所在する官行造林地の伐採計画について情報を共有し、意見交換を実施。
・「津山市バイオマス産業都市構想策定委員会」に参画し、バイオマス産業都市の構築に向けて意見交換を実施。
・「津山市森づくり委員会」に参画し、森林の有する多面的機能を持続的に発揮させるための森づくりに関する施策等の検討を実施。

【成果と今後の課題】

・官行造林地の主伐に係る計画について情報の共有化を図り、契約解除（返地）後の更新計画策定の調整に寄与。官行造林地の販売結果によるその後の対応等について、現地検討を実施。また、伐採計画に計上されていない林分について、主伐指定への振替の可否について検討。
・国有林は津山市の森林の10%を占めており、「津山市バイオマス産業都市構想策定委員会」、「津山市森づくり委員会」において、関係機関との連携により津山市の地域林業の活性化に寄与。



（バイオマス産業都市構想策定委員会の様子）